

主な記事

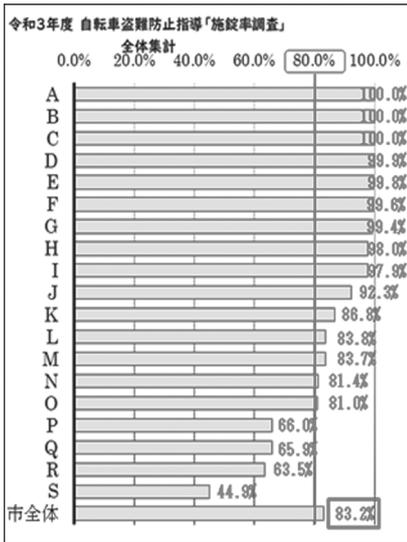
- ・ 自転車盗難防止指導
- ・ 情報モラル教育
- ・ 少年補導センターの業務紹介

補導センター便り

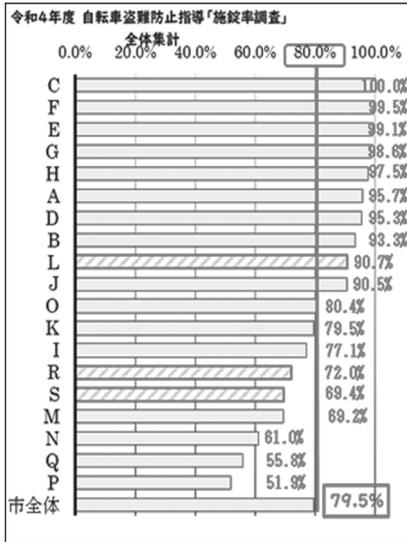
高知市塩田町18-10
 保健福祉センター2階
 高知市少年補導センター
 電話 088-824-6671
 FAX 088-824-6816
 E-mail:kc-200900@city.kochi.lg.jp
 発行人 吉川 佳余

要注意!! 自転車盗難被害 増加傾向へ!!
 ~高知市少年非行対策「自転車盗難防止指導」~

グラフA



グラフB



左のグラフA・Bは、昨年度と一昨年度の市立中学校の「施錠率調査」の結果です。一昨年度は、全体の平均が83.2%でしたが、昨年度、数年ぶりに80%を下回り79.5%でした。比較してわかる通り2年連続施錠率調査100%のC中学校、施錠率の向上のあったL・R・Sの3校以外の学校では施錠率が下がっています。

調査をした19校中10校は施錠率90%以上であることから、取組に差があることや少年補導センターからの呼びかけ等の課題があると考えております。

本年度は、学校としての取組や生徒会の取組がある時だけではなく、日頃からの施錠を意識することができるように、少年補導センターから発信も工夫していきたいと考えています。その一つとして、施錠率調査の結果を生かした施錠の呼びかけ運動や、学校や生徒会での取組などができるように変更しました。また、その後、再調査等を行い生徒会の取組などを価値づけする評価をしていきたいと考えております。

表①

	窃盗犯 (刑法少年・触法少年)	自転車盗		
		小学生以下	中学生	
R3年	65	16	7	
R4年	82	30	小学生以下	2 (+1)
			中学生	11 (+4)
			高校生	10 (+5)
			その他	7 (+4)
前年比	+17	+14		

高知県警察本部生活安全課「ヤングスター」より

左の表①は、昨年と一昨年の窃盗・自転車盗の増減を表しています。近年、窃盗・自転車盗は減少していましたが、昨年から増加に転じています。施錠率の低下と窃盗・自転車盗の増加は関係がある。といってもいいのではないのでしょうか？高知市少年補導センターでは、自転車の施錠を徹底することが、入り口型非行である自転車盗を減らす重要な対策と考え、本年度も取り組んでいきます。中学校補導部会では、児童・生徒が学校以外でも自転車の施錠が自然とできるようにするための取組に発展させたいと考えています。各中学校の取組を交流しあい、取組の向上をすすめていきます。

また、施錠率調査で1年間100%を達成した学校を表彰していきたいと思ひます。

児童・生徒の皆さん
 自転車をとめるときには、
 整頓とカギを忘れずに!!



情報モラル教育

近年のスマートフォンやゲーム機などの普及に伴い、高知市の子供たちにもインターネットに関する様々な問題やトラブルが増加しています。少年補導センターに寄せられる相談も多岐にわたり対応方法に苦慮する事案が増えてきました。アプリや機能がどんどん新しくなるため、センター職員も日々情報収集に努め、対応しています。少年補導センターでは、寄せられた相談に応じるほか、要望のあった学校等に出向き、情報モラル授業を実施しています。実施依頼は年々増加しており、昨年度は情報モラル授業を212回実施しました。そこで、最新の子供たちの利用状況を知り、相談の対応や授業への活用を図るために、「児童生徒のインターネット利用実態に係るアンケート」を昨年度、実施しました。

実施したアンケート内容と、アンケート結果から見えてきた傾向をお知らせします。

<児童生徒のインターネット利用実態に係るアンケート>

アンケート対象：高知市内の小・中・義務教育学校に通う小学校4年生から6年生、
中学校1年生から3年生、義務教育学校7年生から9年生の児童生徒

実施方法：GIGAタブレット

実施時期：令和4年7月

実施総数：小・義4年生～小・義6年生 6,684名（回答率88.2%）

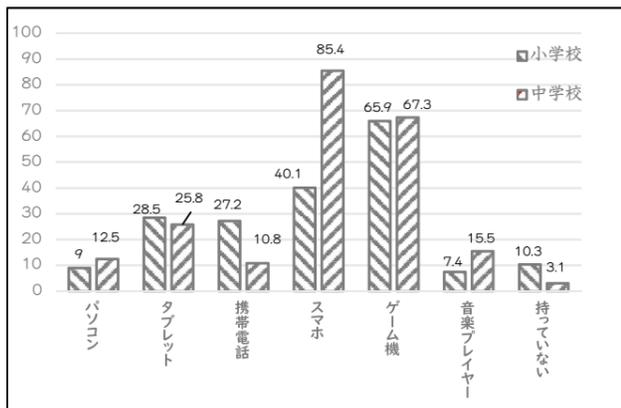
中1・義7年生～中3・義9年生 4,711名（回答率84.2%）



アンケート結果

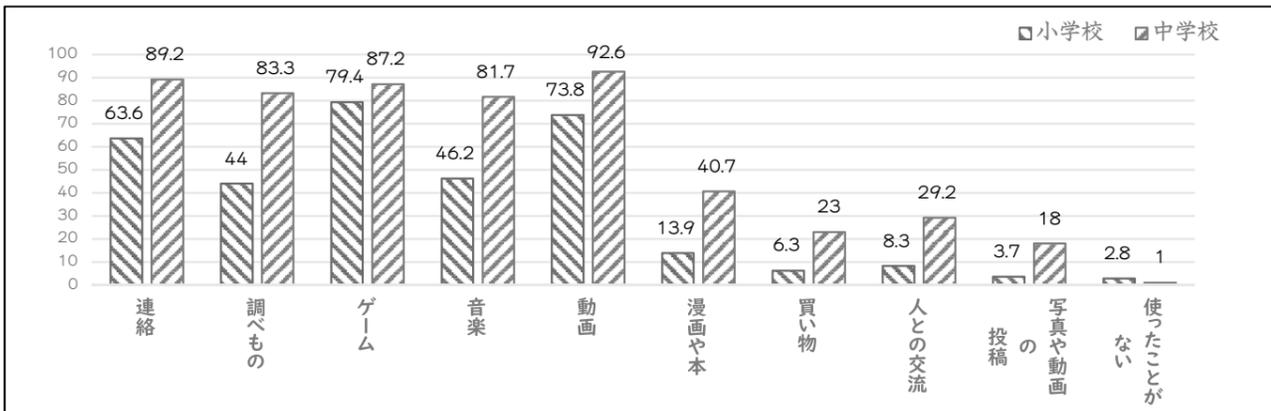
・機器の所有

全体的に学年が上がるにつれて、機器の所有率は高くなる傾向があります。スマートフォン（スマホ）の所有率は、小学校高学年から高くなり、中学生になると約85%が所有するようになります。逆に携帯電話の所有率は、学年が上がるにつれて低くなる傾向があります。キッズ携帯からスマートフォンへの移行がうかがえます。また、ゲーム機は女子よりも男子の方が、より所有率が高くなっています。



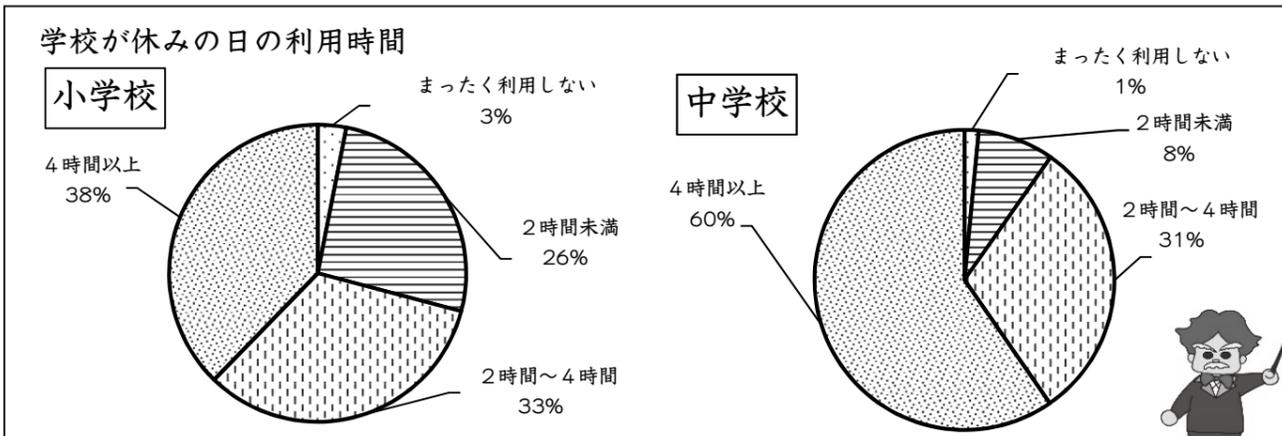
・インターネットの利用目的

小・中学生共にゲームや動画の視聴、連絡等に利用する傾向が高いです。男子は動画視聴やゲーム、女子は調べものや連絡に多く利用していることが分かりました。スマートフォンの所有率が上がる小学校高学年頃から「いろいろな人と交流する」や「インターネット上に写真や動画をのせる」ことに利用する傾向が高くなっています。



・機器の利用時間

全体的に学年が上がるにつれてインターネットを利用する時間は長くなっています。機器の所有率が上がり、アプリの利用が増えることが原因だと考えられます。また男子の方が女子よりも利用時間が長い傾向があります。ゲームの利用が多いことが影響していると思われます。中学生は学校のある日に2時間以上利用している生徒が全体の3分の2になっており、休日になると4時間以上利用する生徒が多いです。



・インターネットやゲームで体験したこと

ゲームに課金する体験がどの学年でも多くなっています。また、「知らない人からメールやメッセージが届いた」体験が中学生になると小学生の約4倍になっています。InstagramやTwitter等の利用で見知らぬ相手との交流ができるようになることが要因だと思われます。少数ですが、「悪口を書き込まれた」体験や「グループから外された」体験をしている小中学生もいます。

・よく使うゲームやアプリ

小中学生がよくやるゲームには似た傾向があり、「マイクラフト」「あつまれどうぶつの森」「大乱闘スマッシュブラザーズ」といったゲームがよく遊ばれています。最近のゲームにはゴールがなく、ミッションをクリアするとまた次のミッションが課せられており、ゲームをする時間が長くなっていく要因の一つになっていると思われます。また、ゲームは無料で楽しめるものがほとんどですが、より高いレベルを求めると課金を求められることがあり、多額の課金につながってしまうこともあります。ゲームの中には、他の人とチャット（会話）をしながら楽しむことができるものもあり、その中での暴言等がトラブルの原因になることもあります。

アプリは、全体的にYouTube、LINE、TikTokの利用が多いです。学年が上がるにつれて、InstagramやTwitterの利用も増えています。最近ではTikTokの動画投稿に関するトラブルの相談が多くなっています。

少年補導センターでは、出前授業を行う際にアンケート結果を活用するようにしています。様々な事例を伝えても、自分事として考える児童生徒が少ないのですが、自分の学校のアンケート結果を見ることで、自分事として考えている様子が見られました。より具体的に伝え、自分たちの身にも起こりうることなのだとして自覚してもらえるように授業を行っています。インターネットは今やなくてはならないツールで、なくすことはできません。そのため、危険だから使わないではなく、正しく使いこなすための土台を作っていくことが大切です。低年齢の早い段階から正しい使い方を習得できる場を設定していくことが益々必要になってくると思われます。今後も授業の中等で啓発を続けていきたいと思ひます。

情報モラル教育のゴールは、自ら危険を判断し、トラブルを回避できる児童生徒の育成です。インターネットの世界は楽しく依存しやすいため、情報モラルの授業で伝えるだけでは、やめられない児童生徒が多いのが現実です。アンケート結果では、ほとんどの家庭でルールを作っていました。家庭でも声かけをしているかと思いますが、日々変わっていくインターネットの世界について知り、ルールについても定期的に見直す必要があるかと思ひます。児童生徒が正しい使い方をし、インターネットの事で困ることがないように、これからも関わっていきたくと思ひます。



令和5年度 高知市少年補導センター業務内容

環境浄化活動

- ・悪書回収・廃棄
- ・巡回時に公園等の清掃
- ・未成年者へのタバコや酒類の提供をしないよう販売店へ協力要請

広報活動

- ・補導センター便り
- ・ホームページ
- ・少年非行防止ポスター展

相談・支援活動

- ・来所相談 ・電話相談
- ・継続相談
- ・学校訪問や学校からの要請に基づく児童生徒の見守り、支援活動

少年非行対策事業

- 小・義務教育学校（前期）
⇒万引き防止を含めた
非行防止指導
- 中・義務教育学校（後期）
⇒**自転車盗難防止指導**

少年補導センター

重点目標

- 早期発見・早期補導
- 効果的な街頭補導
- きめこまやかな相談活動
- 地区活動の充実

情報モラル教育の推進事業

- 児童生徒や関係機関に出前授業を実施
- 小・中・義務・高等学校等におけるネット利用に関する指導

研修・啓発活動

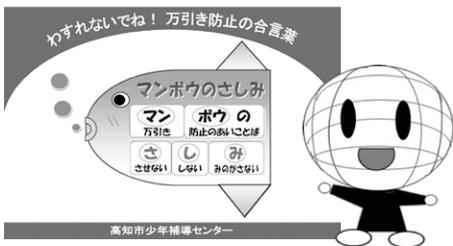
- ・定例補導会議
- ・地区補導委員総合研修会
- ・地区長会
- ・各連絡協議会への参加
- ・出前授業
(非行防止・誘拐防止等)

街頭補導活動

- ・常駐補導
- ・列車補導
- ・特別補導
- ・合同補導
- ・地区補導

支援活動

- ・児童生徒等自立支援教室
街頭補導等で出会う児童生徒の居場所づくりと教室・学校復帰・高校進学のための支援を行う。既卒者についても、進学・就職についての相談や学習支援を行う。
- ・ケース会への参加



運営方針

- ・それぞれが持ち味を発揮し、生きて動く補導センター
- ・愛と熱、明るい和の補導センター
- ・市民総ぐるみ補導活動の中心としての補導センター

